

# ぶんだ会計通信

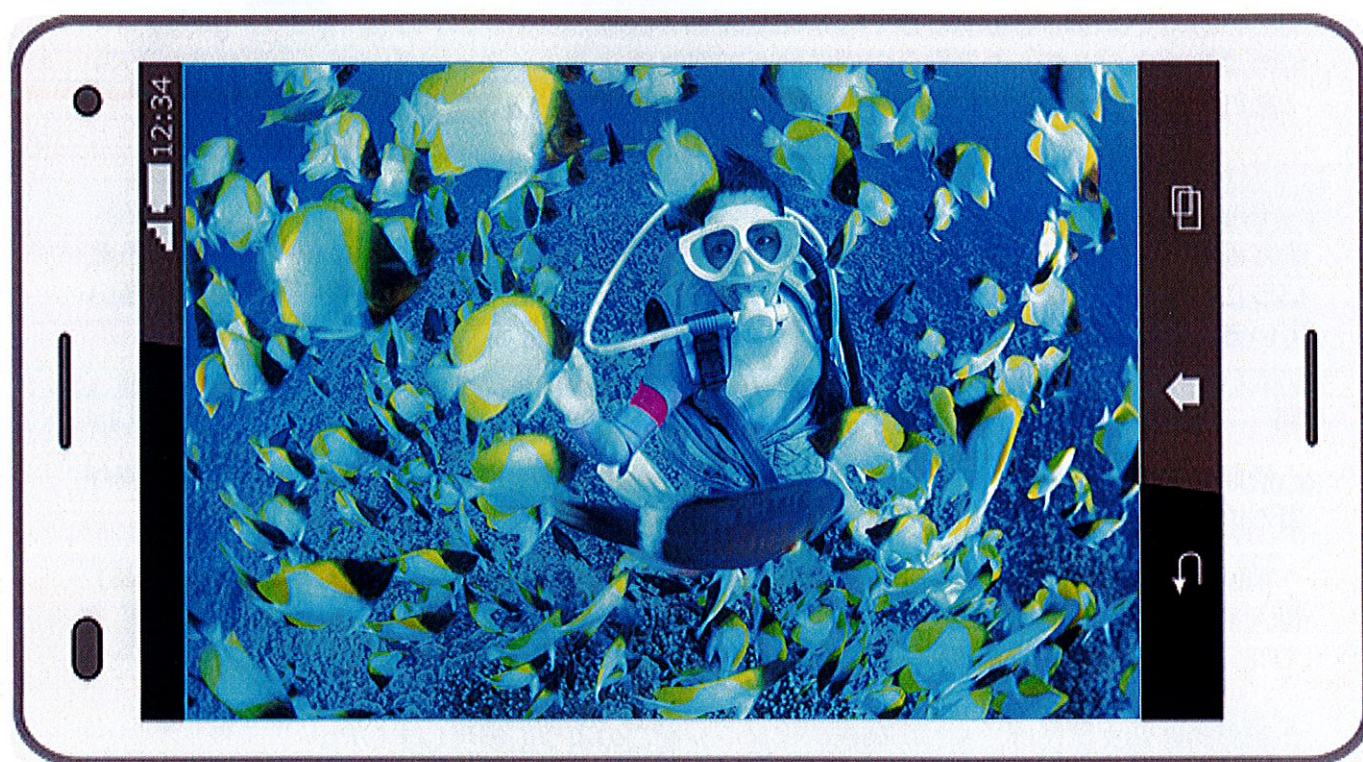
## ■ 自らの価値観(≡美意識)で未来を描く ■

5 & 6月号では、“やりがい”の構造から「自分軸」を見つける、というテーマでした。中小企業では、最終的には、会社のトップである社長さんの「価値観」で会社の将来像が決まります。今回は5つの価値観を、もう少し身近な例として具体的に掘り下げます。どの価値観も優劣なく尊いもの。そう考えると対人関係も穏やかにより方向へと変わってきますね……。

令和4年

7&8月号

No.64



## 経営を、自らの価値観をもとにデザインする (Part.3)

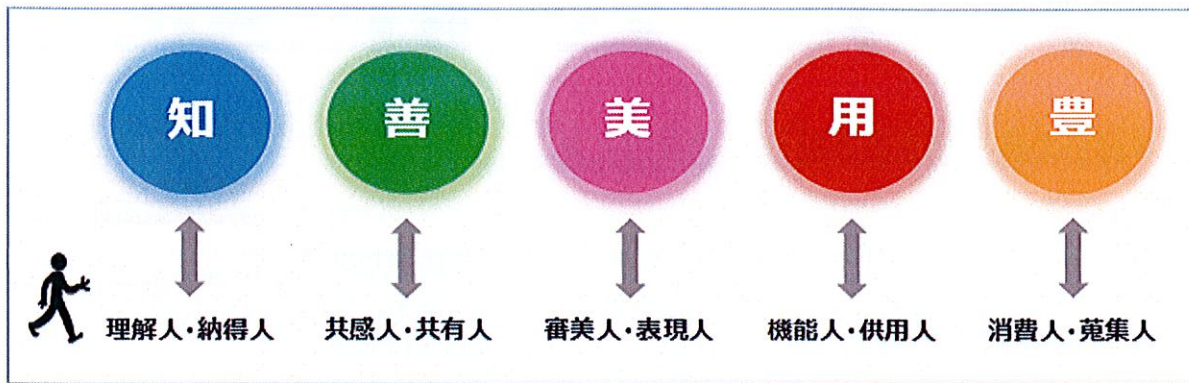
—価値観の構造から、本当の“やりがい”を見つける—

### ① 前月号のおさらい

抽象的な概念である「価値観」をA.価値(もののねうち)とB.価値観(もののみかた)に分けて、それぞれを5つに分類しました。Aは、「知」「善」「美」「用」「豊」の5つのタイプで、Bは、価値観の持ち主(人)の類型として①理解人・納得人②共感人・共有人③審美人・表現人④機能人・供用人⑤消費(所有)人・蒐集(収集)人に分類しました。

後半は、それらの価値観をどのように実現していくのか……? そのタイプ分けが“実現”の4モデル《実感・体現・具現・現場》でした。このようにして大枠ながら「自分軸」の方向性を掴みました。





## ② 「価値観」が合わないって・・・？

「あの人とは価値観が合わないかな・・・」と思うことは、日常で結構あるのではないのでしょうか？離婚の原因も「価値観の不一致」が首位のようです。でも、ふと自分の価値観って何だろう・・・？と思うと「あれ、なんだっけー？」となりますよね。



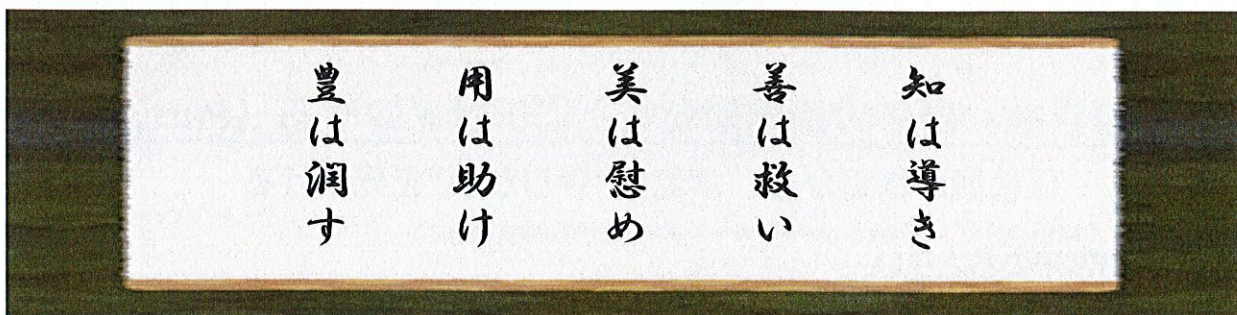
そんなモヤモヤの解消を手助けするのが価値（もののねうち）と価値観（もののみかた）の方程式です。価値（もののねうち）の5分類のうち、どれか一つがピッタリ当てはまるということではなく、「中心軸」にどれかが該当しながら、他の価値が補助的に周囲に取り巻いている、とイメージしてみましょう。

## ③ 「価値」（もののねうち）の5兄弟とは？

価値（もののねうち）の5兄弟「知」「善」「美」「用」「豊」とは、どのような人物が当てはまるのかを、今回号ではもう少し具体的に考えてみます。

前回号でも述べましたが、「知」は**知的好奇心**、「善」は**人間の良心の発露**を表し、「美」は**人間の創造性と想像力の対象としての“美”**であり、「用」は**“世のため人のために”役に立つ”こと**、「豊」は**物心両面での豊かさ**を意味しました。

著者の西岡文彦氏は、5つの価値のイメージをこのように表現しました。



すなわち、「理解人・納得人」とは、**“教え導く人”**

「共感人・共有人」とは、**“手を差し伸べて救う人”**

「審美人・表現人」とは、**“美に癒しを追求する人”**

「機能人・供用人」は、**“貢献、支援する人”**

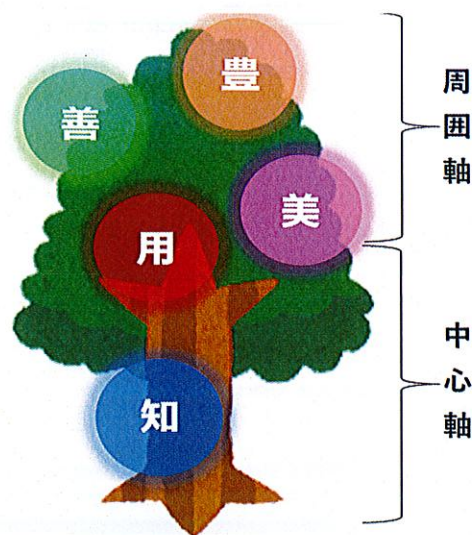
「消費人・蒐集人」は、**“豊かさを楽しむ人”** と言い換えることができます。



#### ④ “自分軸”～「中心軸」と「周囲軸」

自分自身への当てはめは、②でも述べたように、いずれか一つだけが該当というわけでは決していないと思います。例えば、下図のように、自分を“一本の木”に例えてみましょう。根から幹の部分が自分の「**中心軸**」です。そして、枝葉は周囲を取り巻く他の価値観、すなわち「**周囲軸**」です。

「**中心軸**」とは、自分自身の幹となる部分です。それは、幼少期の頃に親から教えられたこと、育った環境あるいは生まれ持った個性、といった土壌から芽吹いたものです。



根っこや幹の部分が**先天的**だとすれば、枝葉に位置する価値の高低は、**後天的**な学習や経験の積み重ねから位置関係が決まってきます。もちろん、**幹を構成する「中心軸」と補助的に作用する「周囲軸」は、一人ひとりすべて異なっています。**

最も共感できる価値観を自分の「**中心軸**」に据えて、それを軸に周囲へ他の価値も広げていけると、“自分らしいやりがい”を感じることができます。同時に、他者目線の「**軸**」も考えてみると、他者の価値観も尊重でき、相手を理解しやすいですね。

#### ⑤ 価値タイプ別のイメージ人物像は？

価値の5タイプ「知」「善」「美」「用」「豊」をそれぞれ「**中心軸**」として持つ人物とはどんなイメージでしょうか？



まず、「**知**」は、**研究者体質の勉強家タイプ**（士業もこのあたりに位置しそうですが、まあ温度差はかなり大きいですね）。アイデアや新技術の開発に没頭し、休日も知識の習得に励む・・・などの人物像が該当しそうです。ポイントは「ユリイカ！」（そうか！）と新たな知識・知恵を得ることを喜びとします。

次は「**善**」タイプの人。職業的には、**社会起業家や社会正義のために活動する人**で、ボランティア精神が旺盛な人です。経営者のなかにも「**善**」タイプの方がたくさんいらっしゃいます。



「**美**」タイプは、**芸術に造詣が深い人や、感受性が高く、何かを創造したい**と考えたり、日常の中に様々な美を求める人で、“知・豊・用の美”というように価値の横断をしながら美を普遍的に見出します。

「**用**」は、**社会での便益や利益に貢献すべく、機能や手法を世の中に提供すること**を喜びとする人で、経営者ももっとも「**中心軸**」になりやすい価値だと思います。しかし、経営者はその他の価値も広く理解し、受容する必要がある存在だと考えます。

「**豊**」は、例えば美食家やコレクターなど、モノを中心に**消費や蒐集（収集）**したりして、「自分ギャラリー」に浸って喜びを感じるような人です。5タイプの中で、**人生を楽しく謳歌する**という意識が最も高い人です。





## ⑥ 占有型⇔シェア型&美意識との関連について

最後に、5タイプの傾向について「占有型⇔シェア型」と「サイエンス的⇔アートの」の切り口で並べてみました。

「知」や「豊」は「**所有的な価値**」であり、「用」や「善」は他者があってこそなので「**共有的な価値**」です（「美」は両者の側面を備えています）。ただし、「知」や「豊」を他者に情報として伝えたりすることで、シェア型にも変化します。

次に、前々回号でのテーマだった『美意識を鍛える』からの「サイエンス⇔アート」の視点では、以下のような位置関係になります。どの価値も優劣なく尊いもの。そう考えると、自分の生きがい発見と同時に、視野も広がり、対人関係も変わってきますね・・・。



上段の「シェア型」になるほど、他者との交わりが深く、また、下段では、美意識を鍛えるために「美」「豊」の要素を自分の中に取り入れていこうという考え方になります。

<参考文献>西岡文彦著『「やりがい」の構造』、JICC出版局、1987年  
(ただし④以降の一部は、権田の私見を含みます)

◎当事務所では、MFIツールを始め、アイデア出し実践のためのサポートを行っています。お気軽にお声かけください。



発行元：

権田公認会計士・税理士事務所  
〒373-0853 群馬県太田市浜町3-6  
太田商工会議所会館4階



TEL：0276-49-5575  
FAX：0276-49-5576  
携帯：090-3543-7314  
Eメール：t-gonda@tkcnf.or.jp  
HP：http://gonda-office.com/